



社会福祉法人 芙 蓉 会

<https://www.fuyoukai.org>

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地 TEL 〈0545〉 55-1118 FAX 〈0545〉 55-1119

児童養護施設	ひまわり園	0545-52-0402	通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	0545-55-1800
地域小規模児童養護施設	ひろみ園	0545-22-1281	通所介護	ふようデイサービスセンター	0545-52-1397
乳児院	恩賜記念みどり園	0545-53-5665	居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	0545-52-5500
企業主導型保育施設	さくら保育園	0545-55-1118	地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	0545-30-8324
特別養護老人ホーム	みぎわ園	0545-55-1800	看護小規模多機能	みぎわの里	0545-30-7952
ショートステイ	みぎわ園	0545-55-1877			



社会福祉法人芙蓉会

110周年通史の発行におもうこと

社会福祉法人芙蓉会 ひまわり園 園長 種田 賢二

昨年度、「芙蓉会120周年記念誌」が発行され、更に令和6年6月には、恩賜記念みどり園の前園長である故内藤順敬先生の悲願であった110周年通史が、現在の理事長の尽力によって発行されました。明治36年の創設以来の長い歴史をまとめることは、大変なご苦労があったと思います。様々な理由で本来あるべき家庭と離れて暮らすことを余儀なくされた乳児や児童、さらには高齢者と対面食を共にして、第二次世界大戦という大きな苦難を乗り越え、まさに家族の代わりとなって多くの人々の人生を支えてきた110年の営みが凝縮された記録です。そこには「職業」を超越した「思想・信念・使命感」にあふれた先達の努力と、その思いに賛同、共感してくださった多くの皆様のご支援の歴史が記されています。

今、乳児院や児童養護施設のような社会的養護関連施設は、平成29年に国が示した「新しい社会的養育ビジョン」とその政策に基づいた「都道府県社会的養護推進計画」によって、大きな転換を強く求められています。実情と解離した数値目標

を掲げた計画には反感を持つつも、時代の変化の中で社会は変容し、経済や文化や価値観も、社会が福祉施設に求めるニーズも変わってきたのだとも思います。

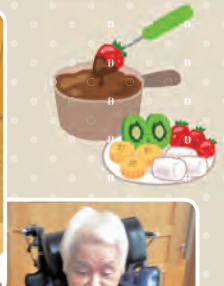
ただ、そうした求めに対応していく重要性を理解しつつも、一方で変わってはならないものがあることも私たちは忘れてはなりません。流れに乗って事業を展開するだけでは薄っぺらいものになってしまいます。「守るべき大切なものは何か」それは歴史を学ぶことで見いだせるものだと思います。

福祉施設にはそれぞれの成り立ちがあり、その歴史の積み重ねの上に現在があります。歴史を知り、先達の思いを学び、社会のニーズを捉え、「変わるべきものと変えてはならないもの」を見誤らないことが大切だと思います。そして、たとえ私たちが変わろうとも芙蓉会の精神の拠り所はやはり「隣人愛」です。この言葉の意味や重み、体現することの難しさと常に向き合っていきたいものです。

★みぎわ園★

チョコフォンデュ

ご自分でチョコをつけ楽しんでいました。皆さんイチゴが好きなんですね。



バラ園

久し振りの外出に中央公園のバラを見に行きました。笑顔が眩しいです。



母の日

日頃の感謝をこめて。



★ふようデイサービスセンター★

～どら焼きづくり～

甘いものは別腹!クリーミーとあんこが合うのよね～ごちそうさまでした。



～フラダンス～

フラダンスのボランティアが来てくれました。一緒に踊り楽しい時間を過ごすことができました。



～田子の月訪問販売～

田子の月広見店の協力のもと訪問販売に来てくれました。なかなか外出し、買い物ができないので皆様、家族、私の分と思い思いに買っていました。私の分が一番多かったかな…。もなかが一番人気でした。



～麻雀～

麻雀を始めました。昔を思い出し取り組んでいます。「リーチ・一発・ツモ!」



★みぎわの里★

お花見

広見公園にお花見に行って来ました。久しぶりの外出と綺麗な桜の香りに皆さんの笑顔が絶えませんでした。



味噌作り教室

今年も深澤味噌屋さんのご指導の下「味噌作り教室」が開催されました。愛情たっぷり込めて作った味噌。出来上がりが楽しみです。



お茶会



和服姿のスタッフがご利用者をおもてなししました。



母の日

感謝の気持ちを込めて感謝状とプレゼントでお祝いしました。



春のスイーツツアー

不二家で女子会♡甘~いスイーツでお腹いっぱい 笑顔いっぱい



★デイサービスセンターみぎわ園★

プリンアラモード作り

甘いデザートが大好きな皆様!上手に盛り付けが出来ました。



余暇活動

趣味の時間を最高の笑顔や真剣な眼差しで過ごされています。



★ひまわり園★



6月に行われた吉原の祇園祭に行ってきました。

- 毎年恒例の子どもたちのお楽しみではありますが、今年もお小遣いを握りしめて何を買おうか、誰と行こうかとワクワクした気持ちを胸に当日を迎えました。幼児さんから高校生まで、それぞれお小遣いと相談しながら買いたいものを選んで買っていく姿が見られました。自分で選んだという事もあって、子どもたち皆満足そうな表情を浮かべているのが印象的でした。



さかなすくいやボールすくいを夢中になってやりました。



こんなに大きな山車も見る事が出来ました。沢山の人
が山車を引いていました。

毎年恒例の甚平を着て、ねじり鉢巻きをしてお祭りへ。落書きせんべいの他にも輪投げなどにも挑戦出来ました。



★ひろみ★



ゴールデンウィークにみんなで静岡市街へ出かけました。フードコートでは複数のお店の好きなものに囲まれ笑顔で食事を楽しみました。好きなキャラクターとのコラボメニューを注文したり、好きなアーティストやアニメのCDやパネルを見たり、公園で大道芸に飛び入り参加したりと、それぞれの楽しみ方をして過ごしました。



★みどり園★

木

こどもの日

お花見

公園へ行ってお花見をする予定でしたが、あいにくの雨だったのでみんなで桜をたくさん作ってお部屋の中を飾りました。桜に絵を描いたりシールを貼ったりして、カラフルで個性的な桜ができました。昼食はお弁当!サンドイッチやエビフライなど子ども達の好きなメニューでたくさん食べていました。



こどもの日

こいのぼりの製作を行いました。袋に目やウロコを付け、中には花紙を丸めて入れ、色々な模様のこいのぼりができました。あいにくの雨で外には出られませんでしたが、完成後はプレイルームとサンデッキでこいのぼりを泳がせました♪

昼食のチャーハン、こいのぼりのコロッケとチーズケーキをたくさん食べました。

最後は大きな兜の前でハイ、チーズ!!



園外保育

富士宮浅間大社に行きました。池にいた鯉に餌をあげた後お参りをして、富士宮イオンで各自買ったご飯を食べた後、川辺で水遊びをして帰ってきました。

鯉に興味津々で、餌をあげたり、鯉を見て一緒に泳ぎたいという子もいました。食後の川遊びも初めは恐る恐る入っていましたが、一度入ると笑顔で水を掛け合うなどみんなで大はしゃぎました。



★さくら保育園★

母の日

今年度の母の日のプレゼントは、園で育てたネモフィラの押し花を使って作りました。家事に育児にお仕事に、、、お母さん、いつもお疲れさまです。

おみずを
あげるね~



ヤモリ

園で昨年度より飼っていたヤモリが卵を産みました。卵が孵ることを楽しみに、毎日見守っています。



【法人本部】

新型コロナウイルスによる感染症が感染症法上の5類に分類され、コロナウイルス流行前の生活に戻りつつありますが、弊会は感染すると重症化しやすいハイリスクな乳幼児や高齢者の家庭に代わる場所としての役割があります。そのため施設毎に必要な感染対策を実施して参りました。

各施設で利用者や職員・職員家族の感染報告を受けておりましたが、重症化したという報告がないことがせめてもの救いでした。

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は120年の歴史と共に地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参りました。また、3年前から準備を進めて参りました。創立120周年記念事業(記念誌発行及び法人紹介動画作成)はスタッフの努力が報われ11月17日に富士ホワイトパレスにて創立記念式典を盛大に開催することができました。ここにご協力やご支援を賜りました方々には大変感謝申し上げます。

ありがとうございました。

法人内研修については、今年も新任職員研修、ハラスマント研修(WEB)、普通救命講習会など対面とWEBでの研修体制の整備を図りました。

職員採用方法として、今年は施設紹介動画を活用して静岡県社会福祉人材センター及び養成校の施設紹介イベント等への参加を立案計画して人材確保への対策を行いました。

最後に、15年の長きにわたり弊会にご尽力されてこられました川島泰彦理事が令和6年3月24日に満78歳で静かに旅立たれました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご報告申し上げます。

【児童養護施設 ひまわり園】

令和5年度は、暫定59名(6名定員の別棟での小規模グループケア1カ所、8名定員の本体施設での小規模グループケア1カ所を含む)の本体施設と6名定員の地域小規模児童養護施設ひろみを運営してきました。ひまわり園・ひろみの各月在籍児童数は以下の通りです。

(ひまわり園月平均42名、ひろみ4名)

初日在籍

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひまわり園	41	42	43	42	41	41	42	42	42	42	43	43
ひろみ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

これは、入所の依頼がなかったわけではなく、小規模グループケア化を進める上で入所児童数を制限せざるを得ないという実情も背景にありました。現状は以下のようなユニットごとの児童数となっており、現在では小規模グループケア申請は6名定員でしか申請できないため、これ

以上児童数を増やすことが困難だと判断して児童数の調整をおこなってきたということになります。

(小規模GC)

ユニット数	さくら	かえで	けやき	大地	もみの木
児童人数	9名	9名	8名	11名	6名

ひまわり園では「できる限り家庭的な環境を子どもたちに提供したい」という考えで、従来から「入所から退所までの期間、生活する場所や職員が変わらないように」と幼児からの縦割りユニット体制を大切にしてきました。そうした取り組みの中で、現在の遇職員の平均勤続年数は、ひまわり園11年1か月、ひろみ8年3か月であり、このことは子どもたちの生活の安定化に大きな効果をもたらしていると言えます。中堅職員や若手職員がこれらに続くようしていくことが人材育成において重要な取り組み課題です。

令和5年度を振り返ると、家庭引取り後や里親委託後、就職自立後の子どもや家族への支援の困難さを感じる事例が目立った印象があります。親子関係の問題、縦割り行政による情報の分断、個人情報保護の下での情報共有の困難さなどで職員が苦労しており、措置解除後の支援の課題の大きさを実感しています。現在入所している子どもたちのこと以外のこうした対応が年々増えている傾向にあります。

【地域小規模児童養護施設 ひろみ】(ひまわり園加算事業)

令和5年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:令和5年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

令和5年度は、小学生1名、中学生1名、高校生2名の4名でスタートとなりました。小学1年生の児童が本園から移行してきましたので、ひろみでの生活や学校生活を落ち着いて送れるように、児童相談所や学校と連携し支援してきました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るよう努めました。また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

昨年度も地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、地域の行事や活動が少しずつ元通りになり、参加することが出来ました。職員子どもと共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切にし、地域の方々と協力していく意識を持つよう努めました。

居室担当職員が4人体制になりましたが、未だ単独で勤務する時間は多くある状態です。どういった勤務体制で児童を養育していくのが良いのか、未だ定まっておらず、事業を進めながら、より良い養育環境、勤務体制を整えている状況です。

【企業主導型保育事業 さくら保育園】

令和5年度は園児3名でのスタートとなり、11月に1名、1月に1名(育儿休業復帰職員)の園児をお預かりしました。内訳は2歳児が1名、1歳児が2名(内1名退園)、0歳児が2名です。

前年度より個別指導計画の様式を変更し、領域をより詳細な目標計画を立て、月末に評価及び園児の様子をまとめて園児一人ひとりの様々な記録を残すことにしました。

基本的な発達の指標はありますが、個々の性格・特徴を踏まえた上で活動を心がけてまいりました。少人数である強みを活かし、製作活動に絵具・シール・クレヨンなどを組み合わせながら様々な内容にチャレンジしたり、興味のある事はどんどんやってみようの思いで、年齢の小さな子どもたちにも年上の子どもたちのやっていることに参加しました。危険が伴う場合には、制止する事もありますが、子どもの自発的な活動を大切に、出来る事はのびのびと職員が見守りながら取り組んでまいりました。

【乳児院 恩賜記念みどり園】

令和5年度当園は定員の25名で事業を実施することができました。静岡県との協定定員は静岡県枠が21名、静岡市枠が4名に見直されました。

令和5年度中の新規入所児童は7名、一時保護児童は14名で、年度内に一時保護児童4名が措置入所となりました。退所児童は5名で、児童養護施設に措置変更された子どもが3名、里親委託された子どもが2名、一時保護児童の4名が家庭引き取りになりましたが、残念ながら措置児童で家庭に引き取られた子どもはいませんでした。

里親委託後のレスパイトは1名、延べ日数2日、富士市のショートステイは0~1歳5ヶ月の乳幼児11名を延べ34日間お預かりしています。

令和6年になり、新生児の一時保護が増え、一時5名の新生児を診察室、観察室で安静隔離することもありました。また、児童養護施設が小規模化を進め、定員を減らす状況の余波を受けて、児童養護施設に入れない2歳の健常児を減収覚悟で受け入れを行いました。この他、みどり園には発達の遅れや、障がいがあるため他の施設で受け入れが難しい子ども達を病院からの打診を受けて、受け入れています。

以前からご報告していました、静岡県独自の耐震基準を満たさない老朽化した園舎の改築について、令和6年度~7年度事業として実施できるように、令和5年6月30日に静岡県に対してエントリーを行いました。改築に関する補助金である「次世代育成支援対策施設整備交付金」の要綱の発出が、こども家庭庁より令和5年8月22日に示され令和5年4月1日に遡って適用されることになりました。みどり園の改築に関して、昨年度実施したひまわり園の大規模修繕時の交付要綱で計画を進めていましたが、補助率等の見直しが行われており、当初借入をしない予定で計画を進めておりましたが、借入をしないと改築ができないため、急遽第189回理事会を臨時開催していただき、借入等の審議をしていただくなどの対応に

追われました。園舎の改築については、令和6年4月上旬にこども家庭庁に送られ現在審議されています。令和5年度は安全計画を作成するまでの猶予期間とされておりましたので、園内の規定やマニュアルに分散されていた子ども達の安全に配慮するための事項や、事業継続計画(BCP)を基に安全計画の作成を行いました。完成が年度末になってしまったので、令和6年度中に職員への訓練等による計画内容の周知や、育成計画を進め、子ども達にとってより安心・安全が守れる支援の構築を目指す取組を心掛けています。

【特別養護老人ホーム みぎわ園】

令和5年度を振り返り、令和6年元日 能登半島沖を震源としたマグニチュード7の地震が発生しました。この能登半島地震においては、当施設から静岡DWAT(静岡県災害派遣福祉チーム)のメンバーとして1名の職員が支援活動に参加し、帰園してから状況報告と、その体験を基に当園の今後の防災活動に関して研修会を開催致しています。

「ふようデイサービスセンター新築移転事業」が(株)井出組の技術者の方々により、暑い中順調に工事が進められ、令和5年12月22日に木造平屋建一部二階建(延床面積485.7m²)の建物引渡しを受けて、3年越しの計画が完成しています。令和6年1月4日より新規に50名定員の変更の下で、事業が進められています。

特養部門の運営状況について、平成27年の介護保険法改定後(入居基準要介護度3以上)の影響が尾を引き、病的背景を抱えた方々が多く、在居年数も1年足らずと短い期間での入れ替りが激しい状況の中で、ユニット介護・看護スタッフには現場での苦労が増えた状況がありました。

感染症について、1月に1ユニットがインフルエンザにて入居者10名の感染状況でした。コロナ感染症については、3月に1ユニットが入居者10名、職員2名の感染がありましたが、何れもゾーニングにて対応し看護・介護職員の努力の下、終息する事が出来ました。この様な状況下で入退去を預かる相談員は翻弄されながらも先を見ての対応した結果、平均稼働率98.8%を何とか維持する事が出来ました。

在宅部門のふようデイサービスセンターでは、コロナ感染症が5類になった事により、一般社会では在宅生活での感染対策が軽視されつづかり、細心の注意を払い取り組んでいましたが、開所間もなく利用者様からのコロナ感染により、利用者様19名、職員2名が発症しました。コロナ感染症も5類と分類された事から、事業は継続出来たものの、営業的には痛手を被ってしまいました。更なる感染防止対策の徹底を図りながら事業を進めている状況です。この様な状況の中でも居宅介護支援事業所では、一人当たりの平均担当者数を40人として努力した結果が表れています。

法人単位資金収支計算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)
事業活動による収支	介護保険事業収入	799,819,000	791,621,576	8,197,424
	児童福祉事業収入	530,417,000	535,166,293	△ 4,749,293
	保育事業収入	15,604,000	15,492,947	111,053
	その他の事業収入	1,273,000	1,271,000	2,000
	経常経費寄附金収入	2,761,000	3,079,494	△ 318,494
	受取利息配当金収入	979,000	951,232	27,768
	その他の収入	7,950,000	8,275,840	△ 325,840
事業活動収入計 (1)		1,358,803,000	1,355,858,382	2,944,618
事業活動による支出	人件費支出	988,262,000	998,752,881	△ 10,490,881
	事業費支出	167,715,000	162,008,312	5,706,688
	事務費支出	114,667,000	107,654,878	7,012,122
	利用者負担軽減額	2,320,000	2,282,387	37,613
	支払利息支出	941,000	958,765	△ 17,765
	その他の支出	5,312,000	5,038,595	273,405
	事業活動支出計 (2)	1,279,217,000	1,276,695,818	2,521,182
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		79,586,000	79,162,564	423,436
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	1,086,000	1,102,000	△ 16,000
	設備資金借入金収入	150,000,000	150,000,000	0
	施設整備等収入計 (4)	151,086,000	151,102,000	△ 16,000
	設備資金借入金元金償還支出	19,434,000	19,434,000	0
	固定資産取得支出	244,605,000	238,173,627	6,431,373
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,133,000	1,133,088	△ 88
	施設整備等支出計 (5)	265,172,000	258,740,715	6,431,285
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 114,086,000	△ 107,638,715	△ 6,447,285
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	44,136,000	52,718,000	△ 8,582,000
	拠点区分間繰入金収入	35,690,000	0	35,690,000
	サービス区分間繰入金収入	14,000,000	0	14,000,000
	その他の活動による収入	1,690,000	1,690,000	0
	その他の活動収入計 (7)	95,516,000	54,408,000	41,108,000
	積立資産支出	32,972,000	12,956,674	20,015,326
	拠点区分間繰入金支出	35,690,000	0	35,690,000
その他の活動による支出	サービス区分間繰入金支出	14,000,000	0	14,000,000
	その他の活動による支出	1,690,000	1,690,000	0
	その他の活動支出計 (8)	84,352,000	14,646,674	69,705,326
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		11,164,000	39,761,326	△ 28,597,326
予備費支出 (10)		316,000 △ 214,000		102,000 0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 23,438,000	11,285,175	△ 34,723,175
前期末支払資金残高 (12)		312,042,824	312,042,824	0
当期末支払資金残高 (11) + (12)		288,604,824	323,327,999	△ 34,723,175

(注) 予備費支出△214,000円は器具及び備品取得支出に充当した金額である。

法人単位事業活動計算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益 児童福祉事業収益 保育事業収益 その他の事業収益 経常経費寄附金収益	791,621,576 535,166,293 15,492,947 1,271,000 3,079,494	774,567,850 511,143,424 19,030,887 993,000 5,100,236	17,053,726 24,022,869 △ 3,537,940 278,000 △ 2,020,742
	サービス活動収益計(1)		1,346,631,310	1,310,835,397	
	費用	人件費 事業費 事務費 利用者負担軽減額 減価償却費 国庫補助金等特別積立金取崩額	1,003,282,881 162,622,674 107,665,273 2,282,387 92,289,136 △ 45,475,693	972,195,021 167,514,209 173,378,151 2,571,633 81,984,970 △ 93,393,342	
		サービス活動費用計(2)	1,322,666,658	1,304,250,642	
		サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	23,964,652	6,584,755	
		借入金利息補助金収益 受取利息配当金収益 その他のサービス活動外収益	0 951,232 8,275,840	19,000 1,113,839 8,407,510	
		サービス活動外収益計(4)	9,227,072	9,540,349	
サービス活動外増減の部	費用	支払利息 その他のサービス活動外費用	958,765 5,038,595	780,129 4,548,425	
		サービス活動外費用計(5)	5,997,360	5,328,554	
		サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	3,229,712	4,211,795	
		経常増減差額(7) = (3) + (6)	27,194,364	10,796,550	
		施設整備等補助金収益 その他の特別収益	1,102,000 1,858,600	122,340,000 446,840	
		特別収益計(8)	2,960,600	122,786,840	
		固定資産売却損・処分損 国庫補助金等特別積立金積立額 その他の特別損失	9 1,102,000 3,485,000	10 122,340,000 1,125,000	
特別増減の部	費用	特別費用計(9)	4,587,009	123,465,010	
		特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 1,626,409	△ 678,170	
		当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	25,567,955	10,118,380	
		前期繰越活動増減差額(12)	741,931,311	667,393,154	
		当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	767,499,266	677,511,534	
		基本金取崩額(14)	0	0	
		その他の積立金取崩額(15)	51,000,000	92,005,406	
繰越活動増減差額の部		その他の積立金積立額(16)	10,707,274	27,585,629	
		次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	807,791,992	741,931,311	
事業・決算報告は、当法人ホームページでも閲覧できますのでご覧下さい。					

・ありがとう・

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げるとともに、ここに紹介させていただきます。（敬称略）

- | | |
|---------------|------------------------------|
| ■アイボリー美容室 | ■（株）ハローG |
| ■畔高京子 | ■久山道子 |
| ■いなば食品株式会社 | ■ピジョンホームプロダクツ（株）代表取締役社長 矢作一郎 |
| ■小西徳三 | ■富士4種委員会 |
| ■小松一徳 | ■深沢 幸江 |
| ■（一般）親切会 中部支部 | ■プレム・ラワット日本事務局・文屋 代表 木下豊 |
| ■鈴木圭一郎 | ■丸山商事 丸山正 |
| ■清 都 | ■（株）live |
| ■高野由梨 | ■Reima（株） |
| ■寺尾健 | ■他 匿名23件 |
| ■行木秀和 | |

（R6.4.1～6.30まで）

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費
個人会費 1□ 1,000円
会員
団体会員 1□ 3,000円

振込先（郵便局振替口座）

・□座番号 00880-0-2423 ・□座名称 芙蓉会後援会

何口でも結構です

他の金融機関からのお振込を受け
る際にご指定いただく口座情報
は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちょ銀行
店名 ○八九店
預金種目 当座
□座番号 0 0 0 2 4 2 3
□座名義 フヨウカイコウエンカイ

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上で大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金
□座番号 0817169
□座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 内藤好彦
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジショウ ナイトウヨシヒコ

編集後記



あつという間に7月はやってきて熱中症に注意が必要な季節になりました。皆さん、体調はいかかでしょうか？

利用者様や子供たちに季節を楽しんでいただけるよう、梅シロップの作成やバラを見に外出、お花見や吉原祇園祭を行っています。水分補給やエアコンといった暑さ対策はもちろん感染症への予防も忘れずに今後とも外出や屋内行事をしていきたいと思います。

蒸し暑い日がまだまだ続きますが、皆様どうぞご自愛ください。